

## 早稲田大学 人間科学部 日本史 講評

出題形式	マーク式
試験時間	60分
特徴・その他	大問数5題、小問数42問、すべて選択問題で例年通り。内訳は正誤19問・語句選択18問・年代配列2問・組み合わせ3問。これまでなかった組み合わせ問題が登場した。これらの中で2つ選ぶ形式が昨年度3問から10問に急増、該当なしの場合カをマークする形式が昨年度8問から14問にやはり急増した。時代別では古代、中世、近世、近代、全時代にまたがるテーマ史の5題で、全時代から満遍なく出題されている。昨年度は戦後史が1問あったが、今年度はなかった。分野別では、2015年度は政治史と社会経済史で8割、2016度・2017年度・今年度と3年連続で政治史と文化史で7～8割となっている。昨年度は第Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ問、今年度は第Ⅲ・Ⅴ問が史料問題であった。全体の難易度はやや易化して標準レベルであろう。たが分量が多めなので試験時間60分には気をつけよう。

## 〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	世界文化遺産 「宗像・沖ノ島」	問1:カが正解。すべて世界文化遺産に登録されている。問2:ウが正しい。奈良県大神神社は三輪山を神体とし拝殿のみで本殿がない。問3:オが正しい。Ⅲ(540年)→Ⅰ(645年)→Ⅱ(751年)→Ⅳ(821年)。Ⅳ『内裏式』は藤原冬嗣らが撰定した最初の勅撰儀式書でやや難。問4:イが正しい。ア・ウは「前期」「後期」が逆、エ「銅鐸」は弥生時代、オ「大仙陵古墳」ではなく稲荷山古墳なのでそれぞれ誤り。問5:エが誤り。「百万塔」は法隆寺にのみ残されている。問6:オが誤り。「孝徳天皇」ではなく推古天皇。問7:エが誤り。「鉄剣」ではなく銅剣。問8:エが正しい。史料中の「沖ノ島の祭祀は、もともとは宗像氏が行っていたものであったが、4世紀後半から国家的な性格を持つようになった」などから判断したい。	標準
II	中世の仏教	問1:アが正しい。イ「後白河法皇」ではなく白河法皇、ウ「石清水八幡宮」ではなく春日神社、エ「北野天満宮」ではなく日吉神社、オ「上級僧侶」ではなく下級僧侶なのでそれぞれ誤り。問2:ウが正解。「慈円」は九条兼実の弟である。問3:ウが正しい。ア「平重盛」ではなく平重衡、イ「元」ではなく宋、エ「運慶・快慶父子」ではなく快慶は運慶の父康慶の弟子、オ「長門国」ではなく周防国なのでそれぞれ誤り。問4:イが誤り。「俊苧」「ひらいた」ではなく明恵(高弁)・再興。問5:カが正解。すべて五山の僧侶である。問6:アが正解。「百姓ノ持タル国」である。問7:オが誤り。天文法華の乱とは延暦寺と衝突した法華一揆が焼打ちを受け、一時京都を追われた戦いである。問8:やや難。Ⅰ(1571年)→Ⅲ(1574年)→Ⅱ(1579年)。	標準

番号	出題内容	コメント	難易度
Ⅲ	江戸時代の思想・学問 ＜史料＞	問1：イが正しい。心学をおこした京都の町人石田梅岩は『都鄙問答』を著し、四民の人的平等を強調し、商業活動の正当性を訴えた。問2：ウ・オが誤り。ウは儒教道徳に仏教や神道の教えを加味した、オは懷徳堂には学んでいないのでそれぞれ誤り。問3：イが正しい。問4：エが正しい。1817年、儒学者広瀬淡窓は豊後日田に私塾咸宜園を創設した。問5：カが正解。陸奥八戸の医者安藤昌益(空欄5)の著書は『自然真営道』である。問6：ウが正しい。安藤は万人がみずから耕作して生活する自然の世を理想とした。問7：やや難。エ・オが誤り。エは国学、オは儒学に関する説明文である。問8：アが正しい。竹内式部が処分されたのが宝暦事件、山県大弼が死刑に処されたのが明和事件。	標準
Ⅳ	大正時代の政治・外交・社会	問1：イが正しい。第2次大隈重信内閣の時に第一次世界大戦が勃発した。なお外相は加藤高明である。問2：ウ・エが誤り。ウは日本が韓国にもつ利益をイギリスが認めた、エは日露協約締結(1907年)は日露戦争(1904～05年)後なのでそれぞれ誤り。問3：ア・オが正解。青島と山東省の利益を接収し、赤道以北のドイツ領南洋諸島の一部を占領した。問4：エが正しい。シベリア出兵(1918年)を行い、米騒動(1918年)により総辞職したのは寺内正毅内閣である。問5：オ・カが誤り。オはロシア西部に進出していない、カはシベリア鉄道敷設権を獲得していないのでそれぞれ誤り。問6：ウ・エが誤り。ウ「第1位」ではなく第3位、エは重化学工業より軽工業の生産額の方が上なのでそれぞれ誤り。問7：イが正しい。これが米騒動につながる。問8：エが正しい。1912年鈴木文治は友愛会を結成、1922年杉山元治郎・賀川豊彦らが日本農民組合を結成。問9：アが正解。第1次加藤高明内閣の1925年に日ソ基本条約・治安維持法・普通選挙法が成立している。問10：オ・カが誤り。オは最高刑を死刑・無期とした、カ「東条英機内閣」「北部仏印進駐」ではなく近衛文麿内閣・南部仏印進駐(1941年)なのでそれぞれ誤り。1941年の治安維持法改正で予防拘禁制が追加された。	標準
Ⅴ	古代～近代の外国人による日本に関する記録 ＜史料＞	問1：アが正しい。煬帝は隋の第2代皇帝。問2：ウ・エが誤り。ウ「左大臣」ではなく国博士。エは仏教文化の吸収も目的であった。問3：オが誤り。日朝貿易は幕府だけでなく初めから守護・国人・商人なども参加した。問4：イが正解。応永の外寇(1419年)は朝鮮軍が倭寇の本拠地対馬を襲撃した事件。問5：イ・オが誤り。ア「博多商人」「堺商人」が逆、オ「貿易を開始した」のではなく貿易を中断した。問6：ウが正しい。ドイツ人内科医ベルツの日記は明治時代を知る好史料。問7：オが正解。抵抗権・革命権を規定しているのは植木枝盛の『東洋大日本国国憲按』である。問8：イ・エが誤り。イ「大統領制」ではなく議院内閣制、エ「二院制」ではなく一院制なのでそれぞれ誤り。	標準

## [総合コメント]

全体の半分近くを正誤問題が占める。難問の多かった2015度をピークに、2016年度・2017年度・今年度と少しずつ易化しているよう。例年、第Ⅴ問は史料を用いた全時代にまたがるテーマ史で、「外国人による日本に関する記録」(今年度)、「宗教」(2017年度)、「衣服の歴史」(2016年度)、「民衆の厳しい生活状況」(2015年度)、「日本の食」(2014年度)、「女性の位置づけや権利」(2013年度)、「外国人の目から見た日本」(2012年度)、「情報とメディアの歴史」(2011年度)とテーマは多様性に富んでいる。近年の傾向として史料問題が多くなったが、ここ3年は難問も少なく解きやすい。ただし今年度は2つ選ぶ形式・該当なしの場合カをマークする形式が急増したため、注意深く読むことがより大事となっている。